



いい本、あるかな。



中学年・2008

あなたのお気に入りを見つけね

日本と外国の絵本 いろいろ

『コワフの消えた鼻』 牧野 良幸 さく 長崎出版 91.3M

いつもいばっている市長のコワフが、ある日鏡を見ると、顔にあるべきはずの鼻がなくなっていた！鼻は一体どこへ？

『ヒロシマのピアノ』 指田 和子 文 坪谷 令子 絵 文研出版 91.3S

広島に住むみさちゃんの家のピアノは、被爆して傷だらけになったけど、60年後にまた演奏できるようになりました。

『どろんこそうべえ』 たじまゆきひこ 作 童心社 91.3T

かるわざ師のそうべえが、つなわたりのつなから落っこちた！そして、おけらのけらへいに土の中へ引き込まれ……。

『かかし』 S・フライシュマン 文 P・シス 絵 小池 昌代 訳 コブリン書房 93F

年老いた農夫が作ったかかしには、頭がなかった。「そんなもの、いらぬさ」と言っていたが、しだいに不安な気持ちになってきて……。

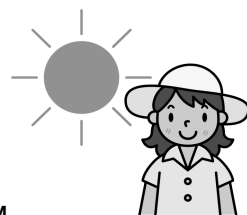
『キャシーのぼうし』 T・クリチャー ぶん N・B・ウェストコット え かつらあまね やく 評論社 93K

ぼうしの好きなキャシーの、今一番大切なぼうしってなに？ガンとたたかう女の子の、ほんとうにあったお話。

『もらったものはもらったもの』 S・ブレイク 作・絵 ふしみみさを 訳 PHP 研究所 95B

うさぎの子シモンとイトモンは車をとりかえっこ。「もらったものはもらったもの。もうかえさないよ！」と2人も言うが？

自然 生活



『トイレのおかげ』 森枝 雄司 写真・文 はら さんぺい 絵 福音館書店 38M

昔の外国のお城のトイレ・昔の日本のお寺のトイレ・飛行機や宇宙船のトイレなど、さまざまなトイレのようすを知ろう。

『カフトエビは不死身の生きもの!?』 谷本 雄治 著 下田 智美 絵 ホプラ社 48T

卵のままで生き続けたりメスだけで卵を産んだりする古代生物「カフトエビ」。そのふしぎな魅力と秘密をさぐる。

『棚田を歩けば』 青柳 健二 文・写真 福音館書店 61A

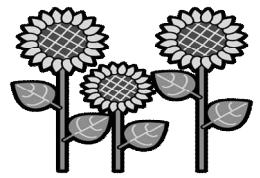
山の斜面や谷間に作られた田んぼの「棚田」。ここでお米ができるまでの様子を、美しい写真でしようかいます。



『かさぶたってどんなぶた』 小池昌代 編 ススキコージ 絵 あかね書房 91.1K

「かさぶたってどんなぶた」ほか全部で18の楽しい詩を、ススキコージの楽しい絵とともに読んでみよう。

いい本、あるかな。



日本と外国の読み物 いろいろ

中学年・2008

『「さやか」ぼくはさげんだ』 岩瀬 成子 作 田島 征三 絵 佼成出版社 91.3I

さやかは強い。泣いたりしないし、けんかも強い。ぼくも強くなりたいけれど、ある日、さやかとけんかになってしまって…。

『夕焼けの国へようこそ』 垣内 磯子 作 早川 純子 絵 フレ－ハール館 91.3K

王子の結婚相手にとわれ、「春の夕焼けの国」へ連れて行かれた4年生のゆりあ。かんじんの王子はどこにいるの？

『子ネズミ チョロの冒険』 さくらいともか 作 偕成社 91.3S

初めてひとりでおつかいに行くチョロは、「へび」がどんなものかを知らない。へびにでくわしたチョロはどうする？

『お皿のホタン』 たかどのほうこ 作・絵 偕成社 91.3T

高橋家には、とれたホタンを入れておくお皿があります。ホワイト夫人・黒岩のジョーたちの人生のお話をどうぞ。

『タヌキ^{ごてん}御殿の大そうどう』 富安 陽子 作 小松 良佳 絵 ホップラ社 91.3T

オハケ科の名医・鬼灯京十郎先生が恭平にくれたホオスキのすずは、オハケ世界へ行くためのカギ。

うっかり鳴らしてしまった恭平はどうなる？（シリーズでもう2冊あります！）



『ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ』 D・K=スミス 作 三原泉 訳 いたうひろし 絵 あすなる書房 93K

びんぼうで運の悪いワビシーネ農場のスキャンピンさん。ある日、ガチョウのガックリがあたためている卵を見たら、なんと！

『アキンホとライオン』 A・M・スミス 作 もりうちすみこ 訳 広野 多珂子 絵 文研出版 93M

アキンホのおとうさんは動物保護区のハットロール隊長。家ちくをおそうライオンをつかまえようとしたが…。

『月あかりのおはなし集』 A・アトリー 作 こだまともこ 訳 いたやさとし 絵 小学館 93U

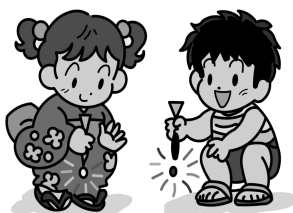
トムのかけぼうしは太陽が出ていなくてもあとをついてくる。ある日、かけぼうしは逃げ出して…。全6話のふしぎなお話集。

『ナティアおばさんの予言』 M・テンプルマン 作 末松氷海子 訳 津尾美智子 絵 文研出版 95D

だんまりサミールがおばさんに占ってもらったら、「命をかけて友達を助けて英雄になる」という。一体何が起こるのか？

『もしもねこがしゃべったら…？』 K・ロウ さく 石津ちひろ 訳 海谷 泰水 絵 長崎出版 95R

トマスのだいじなねこのガスパーは、庭で食べたふしぎな草のせいで、しゃべることができるようになってしまった！



毎月23日は「さんじょう親子読書の日」です。



三條市立図書館

〒955-0072 三條市元町1-6

Tel.32-0657 Fax.32-0632

メールアドレス:lib.@city.sanjo.niigata.jp

ホームページ: <http://lib.city.sanjo.niigata.jp/>